



創 立 1993 年 12 月 1 日
事務局 〒286-0106 成田市取香 500
ホテル日航成田
TEL 0476-32-9544
FAX 0476-32-5548
例会場 ホテル日航成田内
TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2019～2020年度 国際ロータリーテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

【 会長 マーク・ダニエル・マローニー 】

成田コスモポリタンRCターゲット
「みんなで輪をつなげよう」
〔会長：奥村 國雄〕

第 1248 回 例 会

令和元年 7 月 24 日（水）

《ガバナー公式訪問例会》



◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長

*今回、点鐘は100周年記念の鐘をお持ち戴きました。

◇ ロータリーソング それでこそロータリー

◇ 四つのテストの唱和 堀越 晃 会員



◇ お客様紹介



国際ロータリー2790 地区 2019-20 年度

ガバナー 諸岡 靖彦 様

ガバナー補佐 寒郡 茂樹 様

地区幹事長 堀口 路加 様

ガバナー補佐幹事 鈴木 寛尚 様

◇ ニコニコ BOX

・奥村 國雄 会長

《本日のガバナー公式訪問、宜しくお願い致します。》

・高木 正尊 幹事

《蝉が鳴き出しました。ニコニコします。》

・藤崎 政弘 クラブ運営管理統括委員長

《諸岡ガバナーようこそお越しいただきました。本日はご指導の程宜しくお願い申し上げます。》

・片岡 孝治 会員

《先週月曜日から木曜日まで北アルプスの唐松岳に行ってまいりました。天気には大変恵まれ、目の前には立山剣、白馬三山と大変素晴らしい散歩ができました。長野県側の大町から見た後立山を全て踏破できましたので、大変嬉しく思います。》



◇ 会 長 挨拶 奥村 國雄 会長



皆さん、こんにちは。本日は、ガバナー公式訪問の例会とクラブ協議会をとり行います。会員の皆さん少し長くなりますが、最後まで宜しくお願いします。

諸岡ガバナー、本日は宜しくお願い致します。第10グループでは、最初の公式訪問、2790地区内でも2番目の公式訪問とお聞きしています。あと81クラブがありますが、2クラブ3クラブ合同の公式訪問などがあるので50回ぐらいの公式訪問とその他様々な活動があり、1年間私には想像できないスケジュールが詰まっているかと思います。ご健康に留意され2790地区を先導ください。また、寒郡ガバナー補佐、堀口地区幹事長、鈴木ガバナー補佐幹事、ご苦労様です。お世話になることが多々あると思います。今後とも宜しくお願い致します。そしてメンバーの皆さんには、クラブ活動計画書の冒頭にあります、国際ロータリー会長と諸岡ガバナーの挨拶文を今一度お読みいただき、指針を確認いただきたいと思います。

さて、21日（日）参議院議員選挙がありました。自民党をはじめ憲法改正の発議をできる、議員の総数が3分の2に届きませんでした。私は憲法改正賛成派なので、大変残念でした。憲法9条を改正するべきと、思っています。現在でも自衛隊は活動できていますが、制限されている行動が多すぎ非常にわかりづらくなっています。今回のホルムズ海峡の安全航行でアメリカから警備の要請がくるよ

うですが、このような時いちいち特別措置法で国会を通過させるにも、時間がかかるわけです。

日本の石油依存度はいまだホルムズ海峡を通過する石油が 80%以上だそうです。日本が原子力発電を進めてきたのも石油依存のエネルギー割合を少なくし、コストも安くなるはずでしたが、今は稼働させるための安全対策に数千億からのコスト増ということです。太陽光発電も風力発電もまだまだ石油に代わるには程遠いようです。太平洋戦争からいつも石油の獲得に悩まされてきた日本です。今アメリカが、北朝鮮、中国、ロシア、イランと対立しており、先日トルコともおかしなことになってきました。日本は常にアメリカの影響下にあり、翻弄されていくようで、トランプ大統領が次に何をしてくるか心配です。わたくしが心配しても何もできませんが、ともあれ、憲法改正の発議はその機会が来るのかと思いましたが、どうやら逸したみたいです。整いませんが、会長挨拶とします。

◇ 新入会員認証式

郡司 秀典 会員・新井 幸雄 会員・石橋 孝浩 会員の認証式が行われました。



◇ 幹事報告 高木 正尊 幹事

■例会変更：白井 RC

■その他：クラブ計画書 P51 の 10 月第 2 例会「花火を見る会」10 月 12 日振替とありますが、実施日が 10 月 13 日に決定しているようですので、13 日に例会も行います。



◇ ガバナー卓話：国際ロータリーの現在とこれから

諸岡 靖彦 ガバナー



本年度当地区ガバナーを務めます 諸岡 靖彦（成田ロータリークラブ）です。本日は国際ロータリーの現況と、来年 10 月に 100 周年を迎えます日本のロータリーの実情についてご報告する同時に、私のロータリーに対する考え方などを中心にお話しさせていただきます。

ロータリークラブ（RC）は、その会員であるロータリアンによって構成され、一方、国際ロータリー（RI）は、RC によって構成されます。ロータリーの創設者 P.Harris(1868~1947) は資本主義社会の勃興期の、商業道徳が忘れられてしまった 1905 年に、米国シカゴの街に信頼と友情の仲間を増やしたいという趣旨で RC を創りました。親睦と相互扶助が初期の目的でしたが、奉仕という目的を加えることによって全米に拡がり、国境を超え、今では 200 以上の国と地域に、クラブ数 3 万 6 千、会員 120 万人を数える世界有数の奉仕目的団体となりました。こうした世界中のクラブの連合体を RI と称しています。ロータリーは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりで、世界に目を開いて幅広い奉仕活動を国際社会に、地域社会に展開しています。

このようにロータリーは奉仕という基本目標の下に、世界中に会員基盤を有し、クラブを、地域を、

世界をリードしています。ロータリーの活動を確固たるものにしてゆくためには、一人一人のロータリアンがロータリーを熟知して、私たちが所属するクラブをより効果的なクラブに成長させることが大切です。クラブを構成する一人一人のロータリアンがリーダーシップを身につけ、会員組織を強くして、社会が必要とする奉仕活動を継続させてゆくことがロータリー活動の課題です。

本年度 RI の Mark D. Maloney 会長は、ここ 20 年間の会員総数が 120 万人のレベルで推移していることを停滞と断じました。情報化と交通手段の格段の進展がグローバル化を進め、世界の動きがより早く、狭くなっています。他方で地域紛争が長く尾を引き、経済や通商分野には対立と分断が進み、世界中がバランス感覚を失っています。「あと少し」に迫ったポリオ根絶にも、時間とカネがまだ掛かりそうです。マローニー会長は、かつてないほど分断化された世界に繋がりを取り戻すことができるのはロータリーであると断言します。ロータリーはより健康的で、平和で、持続可能な世界に向けた国連とのコミットメントを有し、他の組織には見られない平和と相互理解という精神の下に世界中の人々が繋がるのが出来、目標に向かって意義ある行動を起こすことの出来るインフラを有しています。今こそロータリーの出番です。ロータリーの組織としての勢いを回復させ、地域社会や家庭、職域に新しいつながりを創り、世界をつなぐことがロータリーの使命です。こうした背景から、マローニー会長は『ロータリーは世界をつなぐ』ROTARY CONNECTS THE WORLD のテーマを打ち出されました。

さて、ご参集のロータリアンの皆様に投げかけてみたい話題があります。皆様ご自身にとってロータリーの魅力とは何でしょう、ロータリーを続けている理由は何だと思いいになるのでしょうか？ 来年 10 月に日本にロータリーが生まれて 100 周年を迎えます。「日本のロータリー100 周年実行委員会」が一昨年全国の RC に対して意識調査を行いました。この中に日本人ロータリアンの意識を探ることができます。（この詳細は「ロータリーの友」2017 年 11 月号に掲載）

上位 6 番目までの理由を拾ってみますと ①異業種交流ができる ②生涯の友人・仲間ができる ③自己研さんと学習・成長の機会 ④例会が楽しい ⑤奉仕活動ができる ⑥心からの親睦が得られる… となっています。奉仕活動への期待よりも、他人との関わりを大切にしている、という結果でした。皆様の場合はいかがでしょうか？

私の考え方ですが、「出会いの妙」、それが魅力の第一です。2010 - 11 年度にクラブ会長を務め、その後地区へ出るようになってから、殊に多様な地区ロータリアンとの交流が楽しみになりました。GND、GN、GE と年々立場がガバナーに近づくにつれて、シニア・リーダーといわれる方々や PDG と接する機会が増えて、様々な人間像、彼らの奉仕活動の体験談、立ち居振舞い、リーダーシップのあり方を垣間見てきました。ロータリアンは対等です。ロータリーの会合では、公式、非公式に関わらず対面すればどんな著名な方とでも対等なお付き合い、お話を交わすことができます。「ロータリーに No! は無い」とよく言いますが、回ってきた役目はお受けするのが良いと思います。ロータリーを学び、自分の世界を広げるチャンスだと思うべきです。苦手な分野であっても、ポジティブに受け取るべきです。不安な気持ちが準備を進め、問題意識を高めます。例会や奉仕活動では、意識して年代の違う会員、職業分類の全く違う会員との交流が視野を広げ、感性を刺激します。RI の青少年プログラムは年齢層によって設定が変わりますが、IAC、青少年交換、RYLA、RAC に参加しますと、ロータリーファミリーの幅の広さと若い力に教えられます。ものの見方、考え方そして何よりもロータリー観が養われます。このほかにもロータリーの世界的ネットワークの凄さ、R 財団や米山奨学会の資金力は奉仕活動にとって、大きな原動力であり、その事業に惚れこめば健全で素直な寄付協力に近づけると思います。

ロータリーの全体像を絵にして表現すると、どんなことになるでしょうか！『ロータリーの樹』をご覧ください。青木貞雄ガバナー年度の 2016 年の地区大会に RI 会長代理で当地区に派遣された渡辺

好政 PDG が RI 理事をお務めの 2006 - 07 年度の頃に持論を展開したというのがこの図表です。樹を育て、森を創る発想は日本人の自然観によく嵌ります。森を征服して街を切り拓くという西欧人の感性との差が見て取れます。土壌（中核的価値観）があって、根（R の理念）があるから幹（R の目的）は育ち、幹を太らせれば枝葉（五大奉仕活動や 6 つの重点分野）が広がり、陽光を浴びて果実（R 財団）が実り、全体景観としての R の公共イメージが向上する…というものです。

この『R の樹』から様々なことが、インスピレーションが生まれます。ロータリアンは「個」からスタートして自学（楽）自習して、個のリーダーシップを養います。樹を大きく育ててゆくには高潔性という土壌が特に大切です。ロータリーがロータリーであるためには、職業倫理に従って得た経済力が個人の奉仕活動の原動力になるからです。「クラブ」が地域社会に働きかける要件として、クラブが元気でなければ地域に対して健全な提案やリーダーシップが発揮できません。会員基盤を多様化させて、クラブを持続的に盛り上げてゆくことが大切です。クラブの活動計画は奉仕活動も親睦も絆を創るための相互の存在と役割を認め合って、タテワリの活動だけではなく、上位の目的を共有し合うヨコワリのクロス・プロモーションを意識して動かなければなりません。この樹を持続的に、いかに強く育てるかは、戦略計画の課題です。樹を育て、森を如何に創ってゆくかはクラブ会員全体の総意に関わります。全員の討議で森を創るビジョンを構想してください。ビジョンができれば毎月の、毎年の作業計画を創って、実行してください。半月後、1 年後の実行チェックは欠かすことのできない、次のステップに向かう大事な振返りです。こうして樹が育てばロータリーの活動はますます意義深くなり、楽しくなることでしょう。

ところで、世界のロータリーと日本のロータリーにはギャップが生じている、ということをお聞きになっていませんか？日本のロータリアンが重視する職業奉仕（実は、日本人ロータリアンがこだわっているのは職業「倫理」のようです）は、世界中の何処へ行っても通じない、職業奉仕とは職業上持ち得た専門知識や技能を生かして社会奉仕に貢献することだと、世界は考えているようです。職業奉仕を特別なロータリーを動かす土台として考えていないのです。先の規定審議会で RAC を RI の会員として認める件や、例会の欠席補填（メイクアップ）を当年度以内とする緩和決定には驚きました。しかしこの狭い日本列島で 2000 年もの永い間、自然神信仰（神道）、仏教、儒教を自生的に「餅をこねるように」創り、武士道や商人道に形成し、実践してきた日本人の思想の風土を考えれば、職業奉仕の重視というスタンスは軽率なポピュリズムよりは遥かに重いものです。日本のロータリーがガラパゴスとか、周回遅れで走っているという評価はいただけるものではありません。来年に迫った日本のロータリー 100 周年では、ロータリーという米国建国期ピューリタンの思想潮流を、日本人の風土、文化になじむよう取り入れてきた社会運動として正しく評価されるべきものだと思います。如何でしょうか。

さて、これからのロータリーの方向はどうなるのでしょうか？5 月から日本の元号が「令和」と改元されました。明治以降の大正、昭和、平成の 150 年はおおよそ 30 年ごとに登り坂と降り坂を交互に経験してきました。平成の 30 年間の日本は、バブルの崩壊以後世界同時不況、大震災や自然災害がつづいて、外に目を向ける産業分野もありましたが、大多数の内向きな日本人は「井の中の蛙」と化しました。政府は内需を高めるために躍起になって財政出動しますが、国の借金が膨らむだけでした。人件費は、少しは上昇しましたが、生産性は目立って改善するわけではなく、低成長（時にはマイナス成長）がつづいています。

令和の時代には、もっと大らかに、日本人が持つ本来の相手に心を寄せる優しさが発揮される時代になって欲しいと思います。そしてもっと国際社会に出て、世界に貢献できる日本人の活動に期待したいと思います。そのためには、ロータリーと同じように、日本の国家戦略をもつことが必要です。先ごろ経済同友会が発表した『危機感なき茹でガエル日本—過去の延長線上に未来はない—』の、日

本再生の処方箋をご紹介します。三次元の図表で表わせば、X 軸＝経済の豊かさの実現、Y 軸＝イノベーションによる未来の開拓、Z 軸＝社会の持続可能性の確保、という社会の、近視眼ではない 30 年、50 年後を見通した構想を基本として、そこに到る道筋を考えなければならない、ということです。令和の時代を、「敗北と挫折」の平成の延長と思うのではなく、危機感を持って、日本人の繊細な感性を生かせる健康長寿、地球環境、持続可能性を構築する分野などで世界のトップを目指すべきです。

1 月のサンディエゴの RI 国際協議会で、GE として GETS に参加したとき、会場の入り口に掲げられていた標語は Join Leaders ,Exchange Ideas ,Take Action ! でした。かつてのそれは、Enter to Learn ,Go Forth to Serve! … 「入りて学び、出でて奉仕せよ」でした。標語が変わったことの意味する所は、RI が戦略計画を構築するための姿勢を示しているものであると理解しました。リーダーを集めて、意見を交換して、そして行動する、ということです。これが RI のこれからの行き方であります。

以上で「RI の現在とこれから」というお話を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございます。

◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長

クラブ協議会 司会／進行：奥村 國雄 会長

【第 1 部】

① 会長によるクラブ運営方針 奥村 國雄 会長

2019-20 年度の主な活動方針について報告します。最初に会員増強について述べます。クラブの維持発展の基本は会員ですが、当クラブは幸いにも 70 名前後を維持しております。毎年新入会員を迎えていますが中々増員には至りません。昨年度 7 名の新入会員をお迎えしましたが、残念ながら 8 名の退会者がありました。

この数字には企業からの出向で交代される方も含まれております。村島前会長、担当委員会、会員が頑張っておられました。会員 5 名を増強するためには 10 名の新入会員を迎える必要がある計算になってしまいます。退会者数を前提にするのは違和感があると思いますが、現在の会員数を上回れるよう会員の協力を強く求めてまいります。

次に、会員に例会での卓話講師などの紹介、夜間例会の提案をお願いしたいと思います。スポーツ観戦例会なども考えております。その他についてはクラブ活動計画書をお読みください。時間の関係上省かせていただきます。その他につきましてはこの後、各担当統括委員長にご報告いただきます。よろしくお願いいたします。



② 円滑運営を目指して 高木 正尊 幹事

会長の側近に立ちクラブの向上を念頭に置き、RC（クラブ内、グループ、地区、日本、RI）または関係諸団体からの情報を会員に周知するとともに、その対応に遅滞なく努めてまいります。今回のクラブの大きな会議体ガバナー公式訪問について、ご案内をさせていただきましたところ、98%の会員から返信回答をいただき、同志の温かい友情に支えられている事を実感しました。この結束を裏切ることなく、クラブの充実と円滑なる運営に鋭意努力いたします。



③ 活動計画について

◎クラブ管理運営 藤崎 政弘 統括委員長

クラブ管理運営は「プログラム委員会」と「親睦活動委員会」を統括し、会員が「ロータリーに入会してよかった」と思えるよう、例会内容の充実と親睦活動の更なる充実を図るため、日程や内容等を検証し両委員会と検討を重ね推進してまいります。



例会はクラブ活動の根幹となるもので、会員がロータリアンであることを自覚する場であり、例会への出席はクラブ奉仕の基本となるものです。会長挨拶やニコニコ、卓話者やお客様からのお話で家族や会社の近況報告を通して、様々な奥の情報に触れることができます。例会の充実が会員の資質の向上、クラブの活性化となり、ほかの奉仕活動の推進に繋がっていきます。会員の為になる、より良い例会になるよう企画・運営してまいります。

◎奉仕プロジェクト 神谷 修一 統括委員長

本委員会は、地域社会における活動のなかで、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕に関する地域のニーズに合った奉仕活動を検証し、どのような形で今後の成田コスモポリタンロータリークラブの奉仕事業に繋げていけるかを研究したいと思います。職業奉仕に関しては、ペットボトルキャップ運動でポリオを無くしたい。社会奉仕では、印旛沼クリーンハイキングと空港周辺美化運動への参加。国際奉仕では、青少年リーダーの育成を行ってまいります。



◎会 員 増 強 田中 英之 統括委員長

職業分類では IR の規定審議会で職業の多様性が決議されておりますが、成田コスモポリタン RC では一業一種の推奨をしております。ロータリー情報・雑誌・クラブ研修では、「知っていますか 成田コスモポリタン RC 会員の心得」から学びます。会員増強・出席では 5 名の会員増強を目標とし、MU の方法等をお知らせします。



◎公 共 イメージ 藤崎 康人 統括委員長

広報・公共イメージでは、飯島栄会員が HP を手掛けて下さっています。他には、ケーブルテレビに留学生出発式等を流していただいています。クラブ会報では、週報のインターネット配信、後はペーパーでお伝えしています。ロータリー財団・米山記念奨学会は、10 年位前から協力会を月々 5000 円で寄付金を推進しています。本年度も人数を充実させる為、今よりも協力出来るのではないかと期待しています。



④ ガバナー講評 諸岡 靖彦 ガバナー

会長さんはじめ、各委員長よりお話を聞かせていただきまして成田コスモポリタン RC の充実ぶりが手に取るようにわかります。私が日頃考えていることと、皆様がまとめてくださったことをすり合わせながらよりステップアップして行ければと思います。



・幹事に対してですが、クラブの伝統を踏襲されていることも素晴らしいことではありますが、そろ

そろ卒業していただき、その時代にあったクラブの運営に当たっての注意事項などをご確認いただき、お示しいただくようシフトチェンジしていかれたほうが良からうかなと思います。

・藤崎クラブ運営管理統括委員長に対してですが、非常にきめ細やかにまとめられております。あとはクラブの特徴をどうやって進めていくかだと思います。まずは親睦活動委員会という委員会名ですが、ロータリーで言う親睦と親睦活動とは厳密には違います。親睦とは会員同士が知り合う機会を作る。その繋がりを通じて共に活動しそしてその結果、成果を分かち合い次の奉仕につなげ新しいエネルギーを生み出すのが親睦活動です。その効果的と効率的の違いについて今一度クラブの中で話し合っていたいただきたいと思います。

・神谷奉仕プロジェクト統括委員長に対してですが、国際奉仕が素晴らしい進展を遂げておられます。特にカンボジア助産婦支援等の活動は、是非地区補助金のプロジェクトをグローバル補助金の活動に高めていただきたいと思います。職業奉仕についてですが、クラブ奉仕とビジネスをどの様に捉えるかです。この二つはそれぞれ別のものではありませんが、一人の人間として経営者としてみた時、これは私の持論ではありますが、この二つは並列ではなく重ね合わせて考えてみるべきものだと思います。

・田中会員増強統括委員長に対してですが、これからの時代は、経済的な余裕か、精神的な余裕か、ビジネスのスキルなど、何か格段なる余力をもって世に処するという事が指導者にとって必要なものなのではないかなと思います。それをやっていく訓練はロータリーの中でできると思います。

・藤崎公共イメージ統括委員長に対してですが、大変興味深いのは公共イメージに R 財団と米山記念奨学会の協力会が入っているところです。

・RC クラブ県内でコスモ RC 程具体的な可能性を秘めているクラブは無いので、25 周年が終わり次 30 周年を目指して、会員の皆様のビジョンを育てて行っていただきたい。有難うございました。

【第 2 部】

① 直前会長によるクラブの課題と対策 村島 義則 直前会長

当クラブでは米山・財団寄付の協力会の継続、国際奉仕ではカンボジア医療支援活動、例会の充実、親睦活動、野球部、ゴルフ部等順調に推移しているが 25 周年を超え次なるクラブの充実を計るため、今後の課題、問題点等を抽出し更なる活性化を目指したい。その中で以下 3 点について今後クラブの課題と対策としてみたい。



1. 会見増強及び女性会員の入会促進

課題：ここ 5 年間会員数は 70 名前後で推移している。昨年も 75 名の会員数にすべく目標を掲げたがチャーターメンバー2名の退会もあり年度当初を維持するに至っている。

対策：女性会員の入会については特に拒んではなく対象者がいない。企業から入会している会員が女性になった場合が初女性会員。30 代の若手会員の発掘、来月 38 才の会員が入会予定。個人、企業の発掘。

2. 地域に根ざした活動、事業展開

課題：空港通り美化運動、印旛沼クリーンハイキング、根木名川美化運動などの参加、市で設置している各協議会に参加しているもののクラブが主体となる活動、事業がない。また広報活動もケーブルテレビのみである。

対策：クラブが主体となる活動、事業についてはホームミーティングにてテーマとして話し合っていく。例会内容や活動、事業をコミュニティ誌に情報を流す。コミュニティ誌と契約しクラブのコラムを作る。

3. 会員資質の向上と委員会の活性化

課題：委員会の活動は最小限でしか行われていないように思われます。委員長のみで活動するようです。また出席委員会なども声がけをしますが地区行事の参加もまだ少ないようです。

対策：地区行事参加は他クラブの会員との交流の場となるので積極的に参加しなければならない。年度当初より割り当て等を行い多く出席していただく。委員会は統括委員会で合同開催して行く。年度当初と中間では必ず委員会を開催する。18年4月より11名入会し、過去3年間では21名となるため新入会員にロータリーの勉強をして頂く。新入会員オリエンテーションを前期、後期で開催して行く。(前期は9月25日に開催予定)

② ガバナー講評 諸岡 靖彦 ガバナー

村島直前会長から、次の世代、次の年度に対する期待のお話がありまして興味深く聞かせていただきました。今時代が大きく変わってきております。その中でクラブの活動、対応が多様性を必要とされています。そういう意味でRIでは女性会員の増強に力を入れております。まずは女性会員の対象者を探していただきたい。積極的に攻めていただき、卓話者の女性の友人方も積極的にリクルートしていただくとよいと思います。親睦と研修と奉仕プロジェクトが会員増強の3つの柱でございます。これを充実させることでクラブの運営も活発になってまいります。研修につきましてはRC情報に敏感になって戴きたいです。先のRI規定審議会では今までのロータリーのルールが大きく変わりました。たとえば出席MUの件ですとか、定款の件に当たります。その中身についてはクラブ細則によって各クラブで運用を決められることになっております。既存の会員の方の出番だと思います。そこでクラブでの各委員長様や指導される方が先頭に立ち、クラブ会員皆の意識を高めていただければと思います。そうすることで益々成田コスモポリタンRC様が元気になってくると思います。

【第3部】

クラブからの質問とガバナーによる応答

・青木貞雄パストガバナー

年度内のMUという事ですので6月30日以降にはずらせないという事になると思いますが、諸岡ガバナーはどのようにお考えでしょうか。

・諸岡靖彦ガバナー

確かにその点については厳しくなりますが、是非次回の規定審議会の場にご出席いただきご意見いただければと思います。

最後に卓話の補足を少しさせていただきます。

会員推移が千葉RC96名、成田コスモポリタンRC71名という事で地区内2位でございますが、一方女性会員数が0名でございます。先も申し上げましたが、ここに力を入れていただくことでクラブの位置がさらに向上していくと思います。

危機感なき茹でカエル日本—過去の延長線上に未来はない

これは経済同友会が現在の日本に対して出した提言書だそうです。



閉会の辞 藤崎 政弘 会長エレクト

◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長



◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日 付	会員数	免 除	出 席	欠 席	M U	出 席 率	補 正 出 席 率
前々回修正	7月10日	71 名	5 名	41 名	22 名	3 名		66.67%
本日例会	7月24日	71 名	5 名	48 名	11 名	12 名	84.51%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022